

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38778	
事業名	複合的福祉課題等を抱える市民への支援促進費						
評価担当課	所 属	保)総務部 総務課			電話番号	011-211-2647	
施策名	多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外						
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費			
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他						
事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	少子高齢化や核家族化といった社会的な変化を背景に、複合化・複雑化した福祉的課題を抱えた世帯や、制度の隙間・狭間にあり、これまでの区役所の組織体制では十分な対応ができない事案が増加してきた。福祉課題が複雑化・多様化したケースに対応するためには、区保健福祉部を中心とした複数の機関が複合的に支援を提供することが重要であるが、従来の分野ごとの縦割り体制においては、進捗管理や主体性に限界があり、また、こうした案件に係る情報を主体的に集約・調整する部署がなかった。					
	事業内容(何を実施し)	複合・狭間のケースに対して、伴走型支援の実施を前提として、支援者支援の役割を担う。具体的には、情報収集、関係部署との調整等のマネジメントを主としながら、担当係と協働してアセスメントを行う、一緒に支援を行うプレイングマネジャーとなる、ケースに対する助言を行うなど、必要に応じて様々な役割を担うことで、隙間・狭間のケースを担当する区保健福祉部職員をバックアップしていく。					
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	全区に支援調整課を設置し、将来的には、市民、行政、住民組織団体等がそれぞれの役割を持ち、一体的な支援ができる体制を整備していくことを目指す。					
	他都市の状況	福祉課題が複合化・複雑化したり制度の狭間にある対象者の相談支援の強化を目的として、既存窓口強化と関係機関の連携強化による取組は岡山市の「総合相談体制づくり」や、大阪市の「総合的な相談支援体制の充実事業」等が行われている。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外					
	令和4年度決算額	4,722 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	8 人工	
令和5年度予算額	22,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	14 人工		
令和5年度決算額	7,709 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	14 人工		
令和6年度予算額	13,108 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	14 人工		
指標	アウトプット活動指標1	複合的な福祉課題等を抱えた市民の支援方針が決まった割			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		100%	100%	100%	100%	100%	100%
	↓						
	アウトカム成果指標1				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	支援調整課の事業内容等から、会議の開催件数や相談件数の多寡を指標とすることはなじまないため、支援調整課が関わったことにより、支援方針が決まった割合を指標としている。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
指標2の評価、未達理由、今後の考え方							
今年度の見直し内容	支援調整課設置の枠組みの元となっている重層的支援体制整事業に立ち戻り、取組の方向性や役割について再整理を行った。						
来年度以降の方向性	令和7年度から支援調整課を全市展開することで、複合支援の推進を図るとともに、令和8年度の区保健福祉部や保健師の組織改編に向けて、全市における複合支援に係る基盤を整備する。						